

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

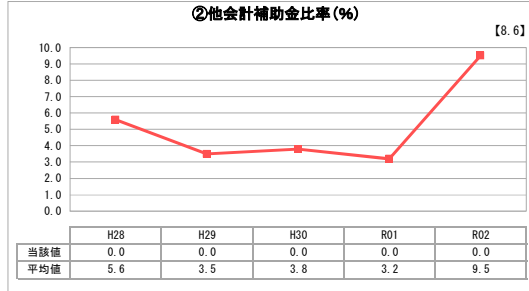
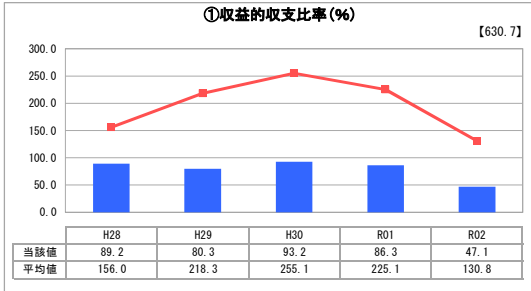
大阪府高槻市 高槻市営高槻駅南立体駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	附置義務駐車施設 其他駐車場	立体式	25	

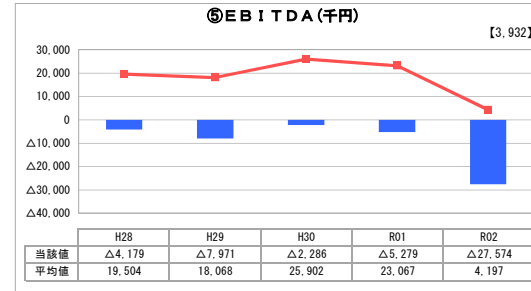
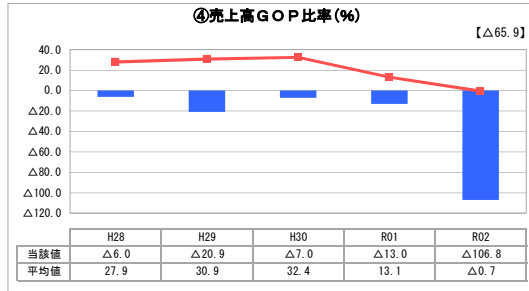
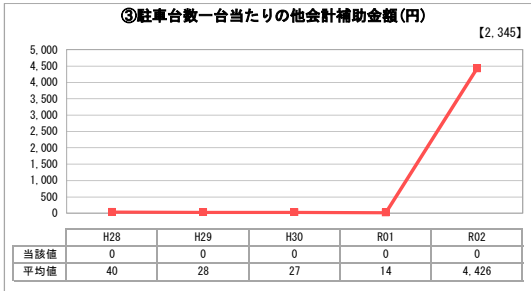
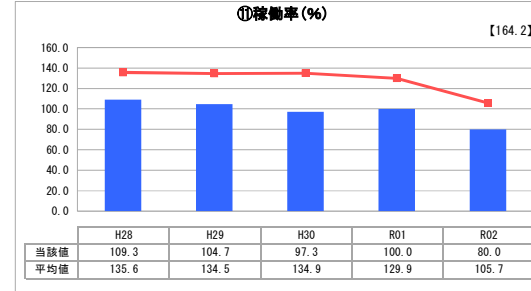
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
駅	無	2,250
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
150	300	代行制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

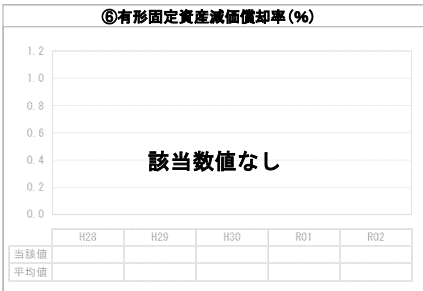
## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況

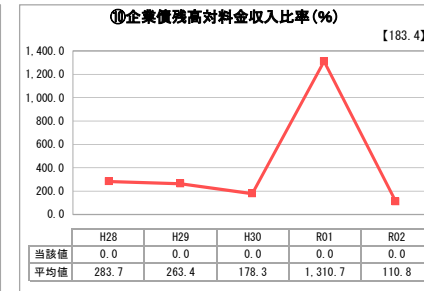
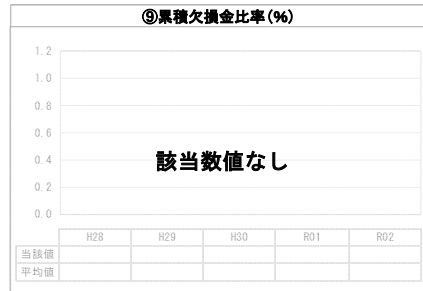


⑦敷地の地価(千円)

281

⑧設備投資見込額(千円)

81,080



## 分析欄

**1. 収益等の状況について**  
 当該施設は、歳入の約半分が特定の商業施設への回数券販売に依存している。また、京都市や大阪市などの大型商業施設のパークアンドライド駐車場としてもPRするなど歳入の確保に努めてきたが、収益的収支比率は100%を下回っており、赤字経営となっている。  
 令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により歳入が落ち込んだ上に、長期修繕計画に基づく機械装置の修繕や二酸化炭素消火設備の更新といった大規模修繕を行ったため、売上高GOP比率やEBITDAが大幅に減少し、類似施設平均値を大きく下回った。

**2. 資産等の状況について**  
 当該施設は平成26年度に企業債を完済したが、機械装置は法定耐用年数の10年を超過しており、従前は保守点検に基づきその都度修繕を行ってきた。修繕コストの平準化を目的に平成28年度より機械装置の長期修繕計画を策定したところ、今後は毎年少なくとも約1,000万円の修繕コストが必要となることが判明している。また、令和2年度には二酸化炭素消火設備の更新を行った。

**3. 利用の状況について**  
 当該施設は、稼働率が類似施設平均値を下回っていることから、他施設に比べて駐車需要は低い。また、近隣にいくつかの商業施設が立地しており、歳入の約半分が商業施設への回数券販売に依存していることから、利用の大半は商業施設利用者の一時利用であると考えられる。

**全体総括**  
 当該施設は利用台数が減少傾向であり、今後の経営改善策として機械装置の老朽化による修繕コストを平準化するための長期修繕計画を策定した。経営状況としては、修繕コスト以外にも機械装置の事故防止の観点からも当該施設に係る管理経費は高額であり、今後も赤字経営が見込まれ、本市の他の市営駐車場の施設と比べても非常に厳しい状況である。  
 そこで、将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」の策定に取り組む中で、周辺の駐車需要や機械装置に対する需要を分析し、令和3年度からは民間移譲や貸付、統廃合を含めた施設のあり方を検討していく。